



“Catalog Pocket”
でも配信しています



御杣始祭・御神木祭

6月3日(火)に20年に一度の伊勢神宮式年遷宮のため、御神木を伐り出す「御杣始祭」が行われ、6月4日(水)から6日(金)にかけて、御神木を送り出すことを祝う、御神木祭が行われました。

4日には御神木を奉曳車と呼ばれる台車に乗せて町内を奉曳する「お木曳」が、5日は郡内各地の芸能団体による木曾芸能祭が行われ、町内外から多くの人が訪れました。
(関連記事 2P)

令和 7 年 5 月末現在

世帯 1,951 戸(ー 1)
男 1,897 人(ー 6)
女 1,970 人(ー 2)
計 3,867 人(ー 8)



美林ちゃん



太郎ちゃん

第六十三回 御杣始祭・ 御神木祭

令和七年六月三日（火）に第六十三回御杣始祭が赤沢自然休養林で執り行われ、それに合わせ第六十三回御神木祭が六月四日から六日まで開催されました。御杣始祭は二十年に一度の伊勢神宮式年遷宮の諸祭の一つで、内宮・外宮の御神体を納める「御樋代」の御用材となるヒノキ「御神木」を伐り出す祭事で、その御神木を盛大に祝いながら伊勢に向かい送り出す奉曳行事が御神木祭です。

御神木は杣夫（木こり）達が、木の幹に三方向から斧を入れ伐採する「三ツ紐伐り」という古式の作法で伐り出し、内宮・外宮用の二本の御神木が交差する形で伐り倒されます。

今回の御杣始祭では雨の中約三五〇人の関係者が見守る中、七人の杣夫が約一時間二十分かけて斧を入れていき、杣頭の「大山の神左よき横山一本寝るぞ」の掛け声のもと、御神木が見事



化粧掛け



三日 御杣始祭

四日 御木曳き



四日 御木曳き 広小路



四日 御木曳き



に二本交差した形のたすきがけに倒されました。

四日（水）には伐り出された御神木を奉曳車と呼ばれる台車に載せて町内を奉曳する「お木曳」が行われました。五社神社の若連や小中学生、一般の方々と約一、一〇〇人が参加し、よるまいから駅前までの三、七kmを木遣り唄に合わせて曳ました。道沿いには町内外から多くの観覧者が訪れ、大観衆のもと御神木は駅前に安置されました。

五日（木）は奉納行事として、御神木が安置された駅前周辺で郡内各地の芸能団体が様々な演目を披露する木曽芸能祭が行われました。駅前広場に用意された特設ステージでは、狂言や舞などの各地元に伝わる伝統芸能が一堂に披露された他、だんじり囃子に和太鼓の演奏も行われ、会場は大いに盛り上がりました。夜には御神木祭を祝う花火が打ち上げられ、最後の木曽踊りでは、上松駅ロータリーを埋め尽くす程の人が参加しました。

六日（金）には奉送行事が行われ、奉納獅子舞と餅投げが行われた後に、御神木は駅前を出発し、道中で多くの人に見送られながら伊勢へと向かいました。



五日 木曽芸能祭



五日 木曽芸能祭

五日 木曽踊り



四日 獅子神楽

四日 奉安神事



六日 餅まきで出発を祝う



上田文昭氏 旭日単光章受章



前上松町選挙管理委員会委員長の上田文昭氏（七十七歳）は、平成十一年十二月から令和五年十二月までの六期二十四年間にわたり上松町選挙管理委員会に在職し、特に令和元年から一期四年間は委員長を務め、令和四年五月から令和五年十二月までは木曾郡選挙管理委員会連合会長の要職も務められました。氏は、常に明るい選挙の推進に努め、

民主的で円滑な選挙と事務の執行に尽力されました。

在任中は、地方選挙、国政選挙等四十回を超える選挙に対し、公職選挙法を厳正に解釈し、忠実に執行することで違反事案もなく、公正公平な選挙の執行に多大な貢献をされました。

この度、令和七年春の叙勲において、永年にわたる選挙管理の功績が認められ「旭日単光章」を受章されました。五月八日（木）午前、長野県庁において阿部守一長野県知事より伝達された後、町への報告と叙勲証書並びに勲章の披露がありました。

消防団 大火記念日行事



昭和二十五年五月十三日から十四日にかけて発生した火災では、罹災世帯六一五世帯、二七九七名の住民の方々が被害に遭われました。町と消防団では、この大火を教訓に、火災の恐ろしさを

忘れることなく、二度と大火を起こさないようにと、昭和二十六年から毎年この時期に大火記念日行事を実施しており、今年は五月十一日（日）に行われました。

当日は早朝より、天狗山公園で火災が発生した想定で、町消防団と木曾消防署の合同による模擬火災訓練が行われました。

今回の訓練では高低差のある箇所での消火活動への理解を深めることを目的とし、消防団員は小学校のプールや防火水槽から天狗山公園までの長い坂道でホース展張と放



水訓練を行いました。その後、諏訪神社境内にて鎮火祭が執り行われ、町内の今年一年の無火災・無災害と団員とご家族、関係者の健康を改めて祈りました。

式典後には、消防団員が管轄地区内の各家庭を巡回し、消火器や火災報知器の点検確認を呼び掛ける火の元点検を行いました。

村上淳氏 旭日小綬章受章

前上松町議会議員の村上淳氏（本町）が、国や社会のために功労のあった方に授与される旭日小綬章を受章されました。

村上氏は昭和六十二年四月に上松町議会議員に当選され、平成十五年三月に退任するまでの間、平成七年五月から平成九年一月までの間は副議長として、また平成九年一月から平成十五年三月までの



間は議長として、四期十六年の長きに亘り在職されました。議会在職時には、議会報編集委員長、国道バイパス対策特別委員会副委員長、総務文教常任委員会副委員長を歴任され、上松町の教育、文化、福祉の向上、地域の活性化等にご尽力されました。また、議長就任時の平成十年三月十五日には、上松町で初の「サンデー議会」を開催。小中学生の議会傍聴にも積極的に関わり、地域住民の議会への関心をより一層深められました。

村上氏は町議員だけでなく県議員としても四期十六年務められました。地方自治発展におけるご功績に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、これからのご活躍を祈念いたします。

上松保育園 交通安全教室

上松保育園の交通安全教室が五月十三日（火）に、保育園周辺で開催されました。この教室は園児たちに道路の安全な渡り方と正しい歩行の仕方などを覚えてもらう目的で毎年行われているものです。

センターの指導員の方々から大きな絵本や、パネルを使って横断歩道の渡り方や信号の見方を教わりました。

その後、園児たちは保護者と手をつなぎ、実際に外に出て横断歩道の渡り方や歩道の歩き方などを確認しました。警察官や交通安全協会の方



が見守る中、子供たちは保護者の方と一緒に左右の確認をして、大きく手をあげて道路を渡ることができました。今回は、交通機動隊木曾分駐隊の方にも来ていただき、交通指導から帰ってきた園児達は、白バイ乗車体験を楽しみました。



上松町シニアクラブ 花いっぱい運動

上松町シニアクラブ連合会では、上松町社会福祉協議会が募集している「赤い羽根共同募金会」の配分事業として、「花いっぱい運動」を行っています。

十四地区のシニアクラブ会員が集まり、マリーゴールド一、二、四本を、地区の公園や集会所、道路沿い、駅周辺などに植えていただきました。

町内の至るところで花が咲き、訪れる方々を和ませられます。

この運動は、各地区の集会所や道路沿いなどに花を植えることにより、環境美化と明るく住み良いまちづくりを目的としています。

今年も五月下旬に、町内

上松町シニアクラブ連合会では、活きいきとした生活を実現していくため、健康づくりや環境美化活動、会員相互の交流などの活動をしています。概ね六十歳以上の方ならどなたでも加入していただくことができますので、お気軽に地域のシニアクラブ役員または住民福祉課福祉係までお問い合わせ下さい。

令和七年度 上松小学校運動会

令和七年度の上松小学校運動会が、「笑顔でがんばる運動会！」をスローガンとして、五月二十四日（土）に開催されました。

今年の運動会は紅白の二組に分かれて行われ、短距離走やダンス、玉入れなど十五種目が行われました。

応援合戦では、各組の応援団長の力強い掛け声に合わせて、元気いっぱいの声でお互

いの健闘を祈って応援をしました。

団体競技は一・二・三年生は玉入れ、四・五・六年生は台風の目（チームで長い棒をもって三角コーンをぐるりと回って走る競技）と、三学年ごとに分かれて行われ、学年を超えて協力し一生懸命に競い合う姿に、多くの声援が送られました。

今までの練習の成果を応援に来てくれた保護者や地域の方に披露しようと、自分の全力を出し切った児童たちの顔には、やりきった満足感に満ちた笑顔があふれていました。



自衛官募集相談員委嘱式

自衛官募集相談員は、自衛官志願者に対する情報の提供、自衛隊地方協力本部の行う募集のための様々な広報に対する援助を、個人の御好意に基づいて実施していただいている方々で、防衛意識の普及等、防衛基盤の育成にも貢献する極めて重要な役割を担っていただいています。今回、竹原和憲さん（沖田町区）に、この相談員を委嘱しました。六月九日（月）に、役場において委嘱式が行われ、自衛隊長野地方協力本部長と上松町長の連名による委嘱状が手渡されました。



竹原さんは、平成十四年より予備自衛官として登録されており、自衛官の重要性などをご自身でも十分認識されていることから、平成三十一年四月一日より相談員として活動され今回は四期目の委嘱となります。任期は、令和七年四月一日から二年間となります。

大相撲 令和7年5月場所 （夏場所） 御嶽海関の成績 十両筆頭 8勝 7敗

令和7年5月18日から24日まで、大相撲令和7年5月場所が東京都両国国技館で開催されました。負け越しが続き、幕内から十両へと落ちてしまった御嶽海関。幕内復帰を目指し挑んだ初戦は黒星でしたが、2日目は白星を挙げました。その後は若い力士相手に後手に回ってしまい勝ち負けを繰り返してしまいましたが、12日目に8勝目を挙げ勝ち越しとなり、幕内返り咲きが確定しました。来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

頑張れ！御嶽海関

1日目	東前頭十八枚目	栃大海	●	叩き込み
2日目	十両二枚目	英乃海	○	押し出し
3日目	十両筆頭	草野	●	送り出し
4日目	十両三枚目	宝富士	○	押し出し
5日目	十両二枚目	藤青雲	●	寄り切り
6日目	十両三枚目	白熊	○	上手出し投げ
7日目	十両四枚目	白鷹山	●	押し出し
中 日	十両四枚目	輝	○	押し出し
9日目	十両五枚目	錦富士	○	押し出し
10日目	十両五枚目	若碓	●	押し出し
11日目	十両六枚目	日翔志	○	寄り切り
12日目	十両六枚目	大青山	○	突き落とし
13日目	十両七枚目	琴栄峰	●	寄り切り
14日目	十両七枚目	友風	○	押し出し
千秋楽	十両九枚目	欧勝海	●	寄り切り



地域おこし 協力隊だより

【倉持 海音 隊員】



協力隊木工部の倉持海音です。今年の4月から木工部のメンバーが入れ替わり、新たな3人でスタートしました。機械のメンテナンスをしながら、協力隊として最初に取り掛かった仕事は木製玩具「モルック」の製作でした。

5月10日、11日に愛知県春日井市で開催された子どもたちの体験イベント「わいわいカーニバル」に、上松町地域おこし協力隊として参加しました。春日井市は上松町を含む木曽広域連合と森林保全や環境教育に関する協定を結んでいます。イベントでは、上松町の特産品である木曽ひのきを使ったモルックで木育体験を提供し、来場者の方々に檜の香りや手触りを楽しんでいただきました。

赤沢自然休養林の豊かな自然についても説明し、上松町の観光スポットや地域の魅力を紹介する良い機会となりました。参加した子どもたちからは「またモルックをやりたい」「赤沢の森林鉄道に乗ってみたい」といった声も寄せられ、とても盛況でした。

協力隊では、11月初旬に「上松凱旋者」と題してクラフトフェアを開催しています。昨年までは国道沿いのねざめ亭の駐車場でしたが、今年は会場を変更し、上松技術専門校とよろまいかで開催します。来年の上松技専80周年に向けてイベントを共同で盛り上げ、今後も地域内外の方に上松町の魅力発信と木工振興のお手伝いのできたら嬉しく思います。

【尾上 一生 隊員】



みなさんこんにちは。4月に地域おこし協力隊に着任しました尾上一生です。

着任初日に役場産業観光課から御神木祭に使用するゴミ箱の制作依頼があり、協力隊木工部で制作を行いました。

依頼内容は、「地元のひのき材を使用した、持ち運びやすく重ねられるか折り畳める形状のゴミ箱で、燃えるゴミ・ペットボトル・缶の3種類を各5個ずつ」。まず、デザインについて木工部の3人で入念に打ち合わせを行い、2回、3回と打ち合わせを重ねる中で、ようやく折り畳みが出来るタイプのおしゃれな（おしゃれなはず！笑）デザインが決まりました。デザインが決まれば、次に細かい構造や、各部材の寸法を決め、材料や道具を購入し、ようやく作業をスタート出来る運びとなりました。

納期がどんどん迫る中、さらにちらほら別の案件も入り、納期に間に合うか3人とも次第に焦りが出始めました。そんな中、別カテゴリー担当の協力隊員メンバーが連日手伝いに来てくれたり、さらに役場職員が手伝いに駆けつけて来てくれたりと、ある時期から作業スピードが一気に加速。協力隊全員が集合する日もあり、仲間との一体感や温かみを日々感じながら、御神木祭直前によくゴミ箱15個が完成しました。

完成までには様々な問題が出て来ましたが、関係者共々素晴らしいチームワークを発揮し、木工部に着任して最初のミッションを達成する事が出来ました。

御神木祭で使った後、上松町で今後も永く役立ってくれば嬉しく思います。



警察官がSNSで連絡 それ詐欺です!

増加中

警察官を名乗り、現金を要求する詐欺の手口が増加しています。SNSやビデオ通話に移行するケースもあります。LINEを悪用した詐欺にご注意ください。

警察官はゼツタイに こんなことしません

- ❌ SNSでメッセージを送りません
- ❌ お金を振り込ませる要求はしません
- ❌ 逮捕状をSNSで見せたりしません



警察官を名乗る人からSNSで連絡を受けたらすぐご相談を

緊急の場合はこちら

警察 110

警察相談専用電話 #9110

消費者ホットライン 188

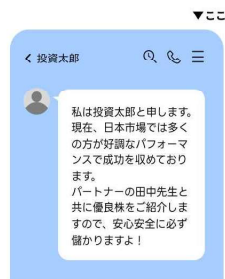


LINEを悪用した
詐欺対策を詳しくみる

左記の二次元コードを読み込むと
LINE 公式ページに遷移します

LINEでの通報方法

- ① トーク画面上部の[≡]>[設定]
- ② [通報]をタップ
- ③ 該当する通報理由を選択
- ④ [同意して送信]をタップ



長野県警察本部



制作協力：LINEヤフー

健康増進センターリシートーク・・・災害

【テーマ：災害時の薬について】

災害時の薬は3日分用意をしよう！



カメさん (カ)



美林ちゃん (美)



太郎ちゃん (太)

- 美：梅雨の時期に入って、そろそろ大雨など災害が心配な時期になるね。災害で避難した時に体調が悪くなったりしないか、お薬のこととか心配だね。
- カ：災害時に病院に受診できなかったり、お薬が不足したというニュースを見たことあるよ。
- 美：自分が日ごろから飲んでる薬をきちんと把握しておくことが大切なんだって。
- 太：でも、薬の名前が長くて覚えられない自信がないなあ。
- 美：薬をもらう時や病院に受診する時に持っていくお薬手帳を持って避難するといいよ。あと、お薬の情報を写真に撮ってスマホや携帯に記録しておく方法もあるよ。
- 太：普段飲んでいるお薬以外に備えておいた方が良いお薬はあるの。
- 美：風邪薬や解熱剤、胃腸薬などの他、虫刺されの薬など持っていると安心かもしれないね。
- 太：お薬ってどれくらい用意しておけばいいの？
- カ：持病の薬は、非常用に3日分、できれば7日分備蓄しておくとういみだだよ。心配なことは、主治医やなじみの薬剤師さんに相談するといいよ。
- 太：普段からの備えが大切だね。早速準備しなくちゃ。

■災害時に備え、いつも携帯しておきたいもの

《災害時にお薬に困らないように、外出時に持ち歩いたほうが良いもの》

- 常用している薬（3日～7日分）
備蓄するお薬は、新しいお薬を処方されたら入れ替えましょう。
- お薬手帳（または、薬手帳の情報を写真を撮ってスマホや携帯に記録しておく）
- かかりつけの病院や薬局の電話番号を書いたメモ
- 保険証のコピー

※マイナ保険証をお持ちの方は、病院や薬局、クスリの内容、保険証の内容などが、マイナポータルサイトから確認できます。（マイナンバーカードと暗証番号が必要です。）

災害時にお薬がない時は、かかりつけの病院や薬局、避難所の近くの病院に相談するか、開設している救護所で相談できます。

上松町役場 福祉係（52-5550）



※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

新井	中澤	武居	稲吉	花川
光夫	清一	佐喜子	尚徳	光喜
88歳	72歳	88歳	72歳	84歳
観音	南栄町	上町	上町	島

ごめいふくをお祈りします

浅井 瑞葉 翼
千花
寝覚 3

おすすめに



五月
(敬称略)